

平成 29 年度  
(第 25 期)

## 事 業 計 画

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日



公益財団法人 とかち財団

## I 基本方針

近年、人口減少に対応するために、国・地方が一丸となり「地方創生」の新たな施策を展開している。

このような背景の下、第2期産業活性化ビジョン（平成29年～33年度、以下「第2期ビジョン」という。）は、これまでの取組みの検証を行うとともに、人口減少がもたらす国内市場の縮小化、競争の激化、海外販路の拡大・観光客誘致と食とのコラボなど、新たな課題意識を持ち策定した。

こうした基本視点に立ち、「十勝の未来につなぐ『価値』の創出と向上を目指す～マーケットを意識したものづくり支援～」を根幹の目標に掲げ、財団の「強み」であるものづくり支援機能や产学官金のネットワーク等を活かした「入口から出口までの一貫した支援」により、国内外の市場（マーケット）や顧客に十勝が選ばれるための、質の高い『価値』の創出・向上に取り組み、十勝の未来に着実につなぐ持続的な産業活性化に貢献するものである。

この目標を実現するにあたっては、横たわる課題の大きさと本質を見極めながら、これまでの常識に囚われない新たな発想と挑戦の気概が必要不可欠である。

このため、これまでに数多く取り組んできた課題解決・ニーズ対応型の産業支援はもとより、「地域の稼ぐ力」となり得る有効なニーズ等を自ら探し当て、従来の実施形態から一步踏み込んだ形での事業展開を推進することや、『価値』の創出・向上を後押しする地域連携をさらに拡大・強化することを第2期ビジョンの基本戦略に掲げている。

第2期ビジョンの実施初年度にあたる平成29年度は、基本戦略と、これを具体的に推進するためのマスタープランに基づき、波及効果の高い試験研究・技術支援、産業人材の実践的な育成、効果的・広域的なPR・販売促進を実施するとともに、各機関横断的プロジェクトへの積極的な参画等により、人的ネットワークの構築・形成（つながりづくり）を促進する。これらの取り組みを通じ、地域の事業者や関係機関と強い信頼関係で結ばれた“十勝における産業支援プラットフォーム”的形成を一層推進し、これまでのコーディネート機能のレベルを上げ、パートに留まらない多面的・総合的な力を發揮していく。

法人運営にあたっては、第2期ビジョンを着実に推進する組織力の強化を図るために、組織機構・事業構成・情報共有等の見直しや、職員の能力向上等に取り組む。あわせて、施設の維持管理と管理経費の削減、基本財産の管理と財務の健全化に努める。

## II 事業計画

### 1 食産業支援事業【公益目的事業1】

「北海道立十勝圏地域食品加工技術センター」を活用した加工食品の開発及び食品企業等の技術力高度化を図るため、以下の事業を実施する。

#### (1) 試験研究事業

食品加工に関連する地域ニーズ・企業ニーズに基づき、マーケットを意識した視点から、必要性あるいは波及効果が高いと見込まれる課題を選定し、地域企業等との連携・共同や、可能な場合は外部資金（受託事業・公募型事業等）を活用しての試験研究を実施する。

これにより、地域の食品加工技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図る。

- <新規> 諸外国人との嗜好性の相違の解析（仮題）
- <新規> 熟成方法の違いによる肉質評価試験（仮題）
- <新規> チョウザメを原料とする加工品の開発
- <継続> 小豆由来の多糖類に関する研究

#### (2) 技術相談・指導事業

食品加工企業等の技術的課題の解決や、新製品・新技術の開発を支援するため、財団職員の専門技術や知識を活用した相談対応や、職員が生産現場等に訪問する形での実践的な助言・指導等を実施する。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化する。

- <継続> 食品加工技術に関する相談への対応
- <継続> 生産現場等への訪問による実践的な技術支援
- <継続> 関係機関との連携による「ものづくりワンストップ相談会」の実施

### （3）情報提供事業

研究開発・技術支援等に関する成果を発表するとともに、インターネットの活用や、他機関等の主催事業への参加等により、効果的なP R・情報発信を実施する。

これにより、事業成果等の普及を進め、成果の利活用を促進するとともに、財団事業への認知度・理解度の向上を図る。

<継続> 成果発表会の開催による研究成果・事業成果等の発信

<継続> 食品加工技術センターホームページの運営による事業情報・研究成果等の発信

<継続> 「十勝の食材データベース」ホームページの運営による地域企業・食材等の情報提供

<新規> 効果的なP R・情報発信の方法の見直し

### （4）人材養成事業

食品加工技術者の養成・資質向上を図るため、食品加工技術センターを有する「財団だからこそ」実施できる講習会や研究会の開催や、企業等からの技術研修生の受け入れ等に取り組み、食品加工技術者の技術習得を支援する。

これにより、十勝の産業を支える人材の実践的な育成を図る

<継続> 専門性の高い技術者育成セミナー等の開催（微生物検査実技等の実務に関する講習会等）

<継続> 圏域のチーズ工房を対象とした「十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会」の開催

<継続> 企業等からの技術研修生の受け入れ

## (5) 技術交流事業

十勝で食品加工に携わる経営者や技術者等の交流促進を目的とする研究会を開催する。また、財団の他事業との連携や、関係機関等の主催事業への参加等により、食材開発や事業化の検討、技術情報の提供、加工食品の評価等を実施する。

これにより、食品加工に関する技術面での交流を活発化するとともに、人的ネットワークの構築・形成（つながりづくり）を図る。

<継続> 圏域の食品加工施設等を対象とした「十勝園地域食品加工技術者の会」の開催

<継続> 財団他事業や関係機関等の主催事業への積極的な参加による技術交流

## (6) 検査分析事業

企業等からの依頼による食品の成分分析や理化学測定、微生物検査等を実施し、その試験分析結果について、公設試験研究機関としての成績書を発行する。

これにより、企業等の課題解決等を促進し、地域の食品加工技術力の強化を図る。

<継続> 試験・検査・分析依頼への対応、及び成績書の発行（有料）

## (7) 指定管理業務

北海道立十勝園地域食品加工技術センターの指定管理者として、施設・設備・機器の適切な保守管理を実施する。また、企業等の製造開発や品質管理等に活用可能な試験機器等を利用提供するとともに、施設利用促進のためのPR・情報発信活動を実施する。

これにより、施設の基本機能を十分に發揮し、利用者サービスの向上を図る。

<継続> 施設・設備・機器の適切な保守管理

<継続> 試験機器等の利用提供（有料）

<継続> 施設利用促進のためのPR・情報発信

## 2 ものづくり産業支援事業【公益目的事業2】

「十勝産業振興センター」を活用した「ものづくり」企業等の技術力高度化及び事業化の推進を図るため、下記の事業を実施する。

### (1) 試験研究事業

機械・装置開発に関連する地域ニーズ・企業ニーズに基づき、マーケットを意識した視点から、必要性あるいは波及効果が高いと見込まれる課題を選定し、地域企業等との連携・共同や、可能な場合は外部資金（受託事業・公募型事業等）を活用しての試験研究を実施する。

これにより、地域のものづくり技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図る。

- <新規> インゲンマメゾウムシ寄生子実選別用光学選別装置の開発
- <新規> 「中規模事業所向けナツツ類トッピング装置」の開発と販路拡大
- <新規> I S O B U S 対応トラクター用のリモコン装置の開発
- <新規> 血乳検査装置の事業化

### (2) 技術指導・企業相談事業

ものづくり企業等の技術的課題の解決や、新製品・新技術の開発を支援するため、財団職員の専門技術や知識を活用した相談対応や、職員が生産現場等に訪問する形での実践的な助言・指導等を実施する。

あわせて、知的財産や経営・創業等に関する相談に対しても、関係機関との連携により幅広く対応する。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、事業化支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化する。

- <継続> ものづくり産業技術（機械分野等）に関する相談への対応
- <継続> 生産現場等への訪問による実践的な技術支援
- <継続> 知的財産や経営・創業等に関する相談への対応
- <継続> 関係機関との連携による「ものづくりワンストップ相談会」の実施

### (3) 情報提供事業

研究開発・技術支援等に関する成果を発表するとともに、インターネットの活用や、他機関等の主催事業への参加等により、効果的なPR・情報発信を実施する。

これにより、事業成果等の広範囲な普及を進め、成果の利活用を促進するとともに、財団事業への認知度・理解度の向上を図る。

<継続> 成果発表会の開催による研究成果・事業成果等の発信

<継続> 十勝産業振興センターホームページの運営による事業情報・研究成果等の発信

<継続> メールマガジン「十勝産業振興センターだより」による情報発信

<新規> 効果的なPR・情報発信の方法の見直し

### (4) 人材養成事業

ものづくり技術者の養成・資質向上を図るため、関係機関と連携する形で、十勝産業振興センターを有する「財団だからこそ」実施できる講習会や研究会の開催等に取り組み、ものづくり技術者の技術習得を支援する。

これにより、十勝の産業を支える人材の実践的な育成を図る

<継続> 専門性の高い技術者育成セミナー等の開催（3D-CAD及び3Dプリンタの活用技術に関するセミナー等）

<継続> 企業等の要望に対応した「オンデマンド型技術セミナー」の実施

### (5) 検査分析事業

企業等からの依頼による鉄筋やコンクリートの強度試験、パークゴルフ用品の検定試験等を実施し、その試験分析結果について、公設試験研究機関としての成績書を発行する。また、企業等の製造開発や品質管理等に活用可能な試験機器等を利用提供するとともに、施設利用促進のためのPR・情報発信活動を実施する。

これにより、企業等の課題解決等を促進し、ものづくり技術力の強化を図る。

<継続> 試験・検査・分析依頼への対応、及び成績書の発行（有料）

<継続> 試験機器の利用提供（有料）

## (6) 産学連携事業

ものづくり技術を中心とした研究開発・企業支援成果の普及・P R の機会として、札幌圏で開催される「ビジネスEXPO」ならびに首都圏で開催される「FOOMA JAPAN」に出展する。

また、地域内外の関係機関・団体等との交流促進を図るとともに、産学官連携等を活用した事業化支援に関する情報収集を積極的に実施する。

これにより、マーケットが求める質の高い「価値」を効果的・広域的にP R し、一層の成果活用・事業化促進や販路拡大を図るとともに、産学官連携を強化する。

<継続> 「ビジネスEXPO」（北海道技術・ビジネス交流会）への出展

<継続> 「FOOMA JAPAN」（国際食品工業展）への出展

<継続> 産学官連携の促進及び事業化支援に関する積極的な情報収集

## (7) 施設管理、会議室等利用提供

財団施設である十勝産業振興センターの施設・設備・機器について、適切な保守管理を実施する。また、会議室等を一般に利用提供するとともに、会議室利用促進のためのP R ・情報発信活動を実施する。

これにより、施設の基本機能を十分に發揮し、利用者サービスの向上を図る。

<継続> 施設・設備・機器の適切な保守管理

<継続> 会議室等の利用提供（有料）

### 3 地域連携支援事業【公益目的事業3】

販路拡大・産学官金連携等の推進による地域産業活性化を図るため、下記の事業を実施する。

#### (1) 開発商品等のPR及び販路拡大

十勝産の農畜水産物ならびに加工食品の「価値」を積極的に発信し、販売促進・販路拡大を図ることを目的として、企業や関係機関等と連携して「FOODEX JAPAN」へ出展するとともに、地域内外で実施される展示会・イベント等に参画・協力し、「FOOMA JAPAN」への出展等、食関連機械製品を対象に含める形での販売PR活動を実施する。

これにより、マーケットが求める質の高い「価値」を効果的・広域的にPRし、一層の販売促進・販路拡大を図るとともに、地域内外における連携を強化する。

<継続> 「FOODEX JAPAN」(国際食品・飲料展)への出展

<継続> 「FOOMA JAPAN」(国際食品工業展)への出展

<継続・見直し> 地域内外で実施される展示会・イベント等への参画・協力  
(食品のほか、食関連機械製品の販売促進に取り組む)

#### (2) 地域連携および人的ネットワーク構築

地域の人脈基盤を強化し、地域産業の活性化を図ることを目的に、十勝の産業に関する情報発信と、企業・関係機関等の人的・物的・知的交流を図る機会を提供する取り組みとして、産学官交流会「ヒューマンネット十勝」を年間3回開催する。

これにより、地域の特徴的な取り組みや製品等を効果的にPRするとともに、人的ネットワークの構築・形成を促進する。

<継続・見直し> 産学官交流会「ヒューマンネット十勝」の開催

(開催回数を年間4回から3回に改め、企画内容の深化を図る)

### (3) 地域ブランドの形成および確立

十勝産加工食品の付加価値及び信頼性を高めることで、農業・食品製造業・関連産業の振興を図り、地域全体の活力向上に資することを目的に、食品製造事業者が連携して組織する「十勝ブランド認証機構」の運営を支援し、事業推進・販路拡大等を実施する。

これにより、質の高い「価値」となり得る地域ブランドの形成・確立を図るとともに、認証制度・認証品の効果的なPRや事業者間の連携を促進する。

<継続> 「十勝ブランド認証機構」の運営支援  
(認証制度の管理運営、認証品のPR・販売促進等)

### (4) 総合的なコーディネート機能の強化

十勝の企業等に対し、入口から出口までの一貫した支援を行うため、関係機関等との連携により、地域内外の人的ネットワークやコネクションを構築するとともに、これを活用した総合的な支援を実施する。特に、「フードバレーとかち」の取組みで推進している「十勝・イノベーション・エコシステム」における持続的な事業創発や第二創業等の推進を図る。

これにより、財團が果たすべき「地域の産業支援プラットフォーム」としての役割を実現し、総合的なコーディネート機能を強化する。

<継続> 「トカチコネクション」の構築とそれを活用した総合的な支援の実施

以上